

第8回 定期総会

第8回定期総会

会は6月11日、立川柴中会公会堂で行われ、24名が参加しま

した。今回の総会では、お茶菓子も用意し円卓形式でお互いの顔が見えて和やかな雰囲気で行いました。特別報告を「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の高橋さん、「オスプレイ配備アンケート」の結果報告を井出さん報告と方針を岩田さんが行い、討論では全員から発言があり、活動方針と新年度の役員が選出されました。



横田基地問題 を考える会

ニュースNo. 35

連絡先

電話&FAX 0428-22-6273

ホームページ アドレス

Yokota-peace.sunnyday.jp

次の活動方針を確認

- 1、オスプレイ横田配備反対連絡会等とも協力して、宣伝、署名、チラシ配布活動を年間7~8回行う。
- 2、機関紙を親しみ易く、読み易くし、年間6回発行する。
- 3、横田基地の撤去を求める西多摩の会、市民交流集会実行委員会…この連携を強める。
- 4、この活動には会員の皆さんの協力を求めます。
- 5、学習講演会を独自に、又は他団体と協力して取り組みます。
- 5、会員を増やし、世話人会を強化し、各分野を専門に担当する人を配置できるように努力します。

新世話人の抱負

三宅 博光さん

アメリカ国家安全保障局(NSA)の職員であったエドワード・スノーデン氏がかつてコンピュータメーカー・デルの社員として2年間も福生市内に住みながら、横田基地に出入り

新年度の役員体制

代表世話人

盛岡 暉道

島田 清作

井出 由美子

清水 多恵子

事務局長

岩田 克彦

事務局員

後藤 太刀味

佐々木 憲幸 (機関紙)

世話人

三宅 博光 (機関紙)

折井 暁 (版下作成)

糸永 辰文 (版下作成)

小玉 博美

(平和フロント講演会)

会計

藤谷 安秀

会計監査

竹内 裕一郎

今回、世話人を退任された人

大沢 ゆたか

熊崎 真智子

近森 拡充

窪田 一忠

していたことが最近明らかになった。彼のようなスパイが我々の身近にいたことに驚くが、現在もこのような活動が行われているに違いない。海軍の横須賀に対して空軍の横田という東アジアの軍事行動に重要な役目を担う外国軍基地の存在を許してはならない。

佐々木 憲幸さん

昨年教職を退職後、1年間単身沖縄に移住し、大学で社会人枠の授業を聴講するかわら、辺野古や高江での米軍基地建設反対の抗議行動にも参加してきました。この間、元米軍属による女性暴行殺人事件やオスプレイ墜落事故など基地あるが故の沖縄を目の当たりにしてきました。主権が侵害され地方自治が否定され続ける沖縄の現状はそのまま首都東京の横田基地の実態と重なりま

す。今後は軸足を沖縄から東京に移し、横田基地撤去の闘いに参加していきたいと思っています。

私の想い

我が人生に悔いなし



新田 紘一さん

フランスに6年留学

生まれは、旧満州国（現中国東北部）で、4歳で終戦。住んでいた牡丹江（ソ満国境）の在留邦人は、まずソ連軍に捕捉され、毛沢東軍→蒋介石軍に身柄を移され、終戦の年の冬は収容所で過ごす。

父は清水建設の社員で、満州支店で10年間働く。当時給料は内地（日本本土）の2倍であった。終戦後、国民党と共産党の内戦が始

まり、国民党は捕虜を抱えているのが重荷になって、日本人の引き上げが始まる。

1946年6月に家族5人何とか日本にたどり着く。幼かったので記憶はない。戦後の食料難ではその調達に苦労する。カボチャやサツマイモが主食。中学・高校はフランス系のミッションスクールに入り、多摩美大で学ぶ。フランスに6年留学し、建築美術を学んだ。

その間1968年5月の学生革命に遭遇した。（この運動は世界に波及。日本でも70年頃、全国の大学で学園封鎖があった）。帰国後、父の縁故で清水建設に就職。結婚し国分寺市に家を買って定年まで働いた。

趣味は絵を見ること

夫婦で上野やその他の美術館に行き、しばしば絵を見ます。絵を時間をかけて見て、作者の意図を考える…大変楽しいことです。絵は見ているとガツカリする

ことも、魅入られることもあり。朝鮮半島は話し合いで解決を

朝鮮半島は話し合いで解決を

今緊張している朝鮮半島

情勢ですが、北朝鮮が実際に日米韓にミサイルを発射することはないと考えています。北朝鮮は3代にわたって、権力者が身内で相続してきた。国民の生活をないがしろにする特殊な政治体制です。そこでアメリカに「ならず者国家」と断定されました。同じ「ならず者物」であったサダム・フセインは強引に米軍に侵攻され殺されたので、北朝鮮はそれを危惧しミサイルを開発し、必死に抑止力を手に入れようとしている訳です。

もし万が一アメリカに向けてミサイルを発射すればその何倍ものミサイル攻撃を受ける…程度のことでは予想しているはず。それでも北朝鮮が体制維持が出来ない状態が来た場合、窮

鼠猫を噛む思いで、アメリカ、韓国、中国、日本への攻撃が考えられます。北朝鮮の様な一党独裁の国は他に中国、キューバなどがあり、世界で認められていません。特にキューバは小国で貧しいながら、教育・医療を無料で頑張っています。見習えば良いと思います。朝鮮半島の緊張は話し合いで解決するのがベストであり、出来ると思います。

横田基地もいらない!!
2017 **10.7** **市民交流集会**
沖縄とともに声を上げよう
10月7日(土) 入場無料
福生市民会館大ホール

＜午前の部＞ 10:00
映画「横田基地の現状」上映
監督 三上 悠実 1時間9分
沖縄の苦悩と闘いに寄り添いながら制作された感動のドキュメンタリー映画。

＜午後の部＞ 13:00
■報告「横田基地の現状」
豪華な名バウコート地下訓練、オサブレイや無人機配備など進展し続ける横田の軍事機能と危険性。
■パネルディスカッション
私たちは訴える「横田基地はいらない+横田基地もいらない」と。
徹底論議で「抑止力」のウソを明らかに。
・米軍は日本の防衛を本気で担うのか
・米軍基地は何の目的があるのか
・北朝鮮・中国の脅威とは
■基調報告
横田基地撤去に向けての私たちの取組の報告と沖縄の闘いと連帯しながら進めていく今後の闘いのアップデート
■横田基地に向けてのパレード

オスプレイはく、横田基地は撤去
第100回 すわりこみ記念パレード
横田基地もいらない!!
市民交流集会実行委員会

横田基地めぐりのご案内

解説付きのバスツアーで、見て聞いて、もっと横田を詳しく知ろう。毎回好評です。お申し込みは先着順です。お早めどうぞ。

Aグループ 午前10時出発 集合9時50分
Bグループ 午前11時出発 集合10時50分

■集合場所 市民会館ロビー
■定員 各グループ25名 合計50名
■参加費 1000円
■申込み先 渡辺 042-555-7834 (FAX) 090 5502 6194



「沖縄の基地を本土に引き取る運動」に怒り

(島田 清作)

「沖縄の人たちは米軍基地の大きな被害を受けていて気の毒だから、本土の私たちが沖縄の基地を引き取ろう」という運動がいくつかの地域で起きていて、その交流会が東京で開かれたという記事を朝日新聞が掲載した。

私は、さもないけどと言わんばかりの記事に怒りを感じるところにも、この運動について語った沖縄の友人の言葉を思い出します。

『じつじつことを言いつ出人は悪意からではないと思っただけ、沖縄にとっては有難迷惑な話。侵略戦争のための基地はどこにあってもいけないもの。沖縄が望んでいるのは安易な同情ではなく、沖縄の闘いに共に参加してくれることであり、自分の住んでいる地域で米軍基地なくせの声を上げ、日本中に基地反対、安保反対の声を上げ、沖縄を孤立させないことだ。』

三多摩に住む私たちは、さまざまな形の沖縄と連帯する運動に長年取り組んできた。そこから「横田基地もいらない」という運動を始めた。

横田基地ではパラシュート降下訓練やオスプレイ、無人偵察機の離着陸などが激しくなってきたけれど、沖縄の基地被

オスプレイ オーストラリア沖で墜落 政府6日国内での飛行自粛を要請 11日飛行再開を容認

8月5日、オーストラリア東部沖合のショールウオーター・ベイ訓練区域で、普天間基地所属のMV22オスプレイが強襲揚陸艦に近づいた際に、甲板に接触したという情報がある。26名が乗っていたが、26名は救助された。3名は行方不明。1名は病院に搬送された。(その後米軍は3名は死亡と発表)

事故機は海中に沈んでいるのが発見された。この事故はクラスAと認定された。

小野寺防衛大臣は、6日日本国内でのオスプレイの飛行を

害は少しも減少していない。私たちの願いは、日米安保条約を無くし、全ての軍事基地をなくすことである。基地を引き取るなどという美辞のもとに、全国にもっと基地を作ろうという悪知恵の働く奴の策動かもしれない。気をつけなければ。

自粛するようアメリカに申し入れた。ところが、9日に米海兵隊が「安全宣言」を出し、11日には「防衛省の知見に照らして、合理的な措置が取られているとみられる」として、飛行再開を容認してしまいました。

千葉県・木更津市が試験飛行の自粛を要請

県と市はオーストラリアでの事故を受けて、7日、陸上自衛隊木更津駐屯地で実施される、定期整備に伴う試験飛行の自粛を、米軍に働きかけるよう、北関東防衛局に要請した。



オスプレイくるな! 横田基地は撤去! (福生フレンドシップ公園) 第100回座り込み&記念パレード (横田基地沿い国道16号)



会からのお願い

会費を納めてください

この会の会計年度は4月1日から翌年の3月末です。会費のお願いを同封します。ご協力ください。

横田基地市民交流集会は10月7日(土)です。

当日のチラシを同封します。

② 賛同金にご協力ください。

②当日ご参加ください

各種活動にご参加を

駅頭宣伝・機関紙編集…などの活動にご協力ください

オスプレイ訓練拡大

2014年に横田基地に初飛来したMV22オスプレイは今年3月、横田基地を拠点に相馬原演習場(群馬)、関山演習場(新潟)で日米共同演習「フォレストフライト」を行う一方、東富士演習場で離着陸訓練を行い、初飛来以来、離着陸回数はすでに100回を超え、騒音被害が多発しています。また、沖縄普天間基地所属のMV22オスプレイが参加する日米共同演習「ノーザンパイパー」が8月に北海道千歳駐屯地と矢野演習場で行われることが明らかとなりました。今回の共同演習は、これまで年2回行われていた共同演習「フォレストフライト」とは別の新たな演習で、過半数の米海兵隊員2000人が参加する大規模演習で、戦術法強行以降日本本土が米軍の出撃・訓練拠点となるものです。

オスプレイ欠陥 防衛省認める

2015年ハワイでMV22オスプレイが巻き上げた砂塵をエンジンが吸い込み墜落して乗員2名が死亡した事故で、エンジンフィルターの欠陥が未だに改善されていないこと



全土で米軍オスプレイが展開される事態は断じて許されません。

とを防衛省が認めました。オスプレイの構造的な欠陥を放置したまま9月にも1号機が自衛隊に配備されようとしている一方、墜落のリスクを抱えたまま日本

横田基地 関連の動き

横田基地に無人偵察機 グローバルホーク飛来



GRAMを拠点に運用されている米空軍グローバルホークが、日米「2+2」において2014年から三沢基地での展開を開始。今年5月から7月の滑走路改修

工事に伴って一時的に横田基地に展開することになったものです。周辺地域では5月1日の初飛来から連日のように離着陸する同機が目撃され、異様な機体に住民の不安が広がっています。

米軍特殊作戦機が低空飛行訓練

米軍横田基地ホームページによると、嘉手納基地配備のMC130HコンバットロンHによる低空飛行訓練が本土の山岳地帯で実施されていたことが明らかになりました。また、横田基地配備のC130輸送機も日常的に関東周辺で低空飛行、物資投下、人員降下訓練を繰り返すなど、横田基地を拠点にした訓練が激化しています。

繰り返しされる 米軍輸送機の部品落下

7月13日、横田基地所属のC130H輸送機が飛行中に約450gの金属製のフリートを送り飛ばしたことが北関東防衛局から周辺自治体に情報提供されました。6月にも韓国の米軍クンサン基地から横田に飛来したC5Mギャラクシーが飛行中に左翼上部パネルを紛失。また5月には米軍厚木基地所属のEA188グラウラー攻撃機が爆弾懸架装置ネジの落下事故を起こしたばかりです。東京都と周辺市町連絡協議会は度重なる事故に厳重に抗議すると共に、原因究明、再発防止を米軍と防衛省に対し要請しました。

C5Mギャラクシーがブレーキ液漏れ

7月20日、米軍大型輸送機C5Mギャラクシーが、ブレーキ液漏れを起こしたことが、防衛省北関東防衛局を通じて米軍横田基地から周辺自治体に情報提供されました。同機は20日午前離陸直前に滑走路西側誘導路で190リットル(ドラム缶1本分)に上るブレーキ液漏れを起こしました。米軍は、環境への影響はないとしています。東京都と周辺市町連絡協議会は原因究明と再発防止を要請しました。なお同型機は6月にも左翼上部パネルの紛失事故を起こしたばかりです。

横田座り込み100回

米軍横田基地撤去を求める座り込み行動が7月16日(日)福生市フレンドシップ公園で行われました。「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の呼びかけで2009年から毎月第3日曜日に行われ、この日は記念すべき100回目です。500人を超える参加者が集まりました。集会後、福生駅に向かって「横田基地はいらない」「オスプレイはいらない」などと意気高くコールしながらパレードを行いました。